

虚空尽き、衆生尽き、
涅槃尽きなば、我が願いも尽きなん

真言宗 心和寺 住職 悠心

倉敷市中島に「心和寺(しんなじ)」という小さなお寺があります。商売繁盛開運・交通安全の祈願寺として、地元はもとより遠方からも参拝客が訪れます。住職である悠心(ゆうしん)さんは、離婚や子どもとの別れ、ガン宣告など、数々の壮絶な苦難を乗り越えて出家し、僧侶となった異色の経歴の持ち主。こうした経験から「苦しむ人に寄り添いたい」と語る悠心さんにお話を伺いました。

結婚・出産、そして別居

悠心 24歳で結婚し、25歳で長女を出産しました。専業主婦をしながら3人の子どもにも恵まれ暮らしていましたが、35歳の時に別居することになりました。この時、子どもたちは3歳、5歳、10歳。小さい子どもたちを連れ故郷に戻りました。35歳にして人生で初めての挫折を感じ、当時は「理不尽」「不条理」といった言葉が頭の中を支配していました。



離婚・無職・父の世界

悠心 6年間の別居を経て離婚、そしてその後、父が突然に他界しました。また、同期に転勤辞令により職を失うことになりました。離婚をした数日後には長女の高校受験が控えており、感傷的な気持ちを心の底へ閉じ込め、母として平常心を保つように「女優のように母親役を演じよう」と心に決め、毎日(過)していました。当時を振り返ってみるとリヤカーに3人の子どもを乗せながら、ゆっくりと歩んでいるような日々でしたが、子どもたちがいたからこそ前を向いて歩めていたのです。ですが、理解者であった父が他界し、「諸行無常」を感じました。とてもつらい経験でした。

子どもたちとの別れ

悠心 離婚し自営業をはじめ、寝る間を惜しんで働きました。それから5年が経過したころ、とある事情から子どもと離れて暮らすことになってしまいました。離れて暮らす子どもたちが苦労している様子を知るも、手も足も出せなかったままに気が持たないでいました。子供に会うために、往復500キロの道のりを毎月運転して通いました。子どもたちの置かれた環境や気持ちも考え、つらい経験です。自分の無力さに打ちひしがれました。

ガン宣告・裏切りと出家

悠心 つらいことは立て続けにやってきました。46歳でガン宣告を受け、切除の手術を受けました。気苦労が多い時期で、「病は気から」と言いますように、物事の捉え方で病を引き起こしてしまつたように感じます。その後は仕事に邁進し、自営で始めた仕事も少しずつ拡大し、従業員も増え多忙を極めていた頃、ある会社から裏切られ失意を経験しました。その事で自らが背負いこんでいたものの多さに気づき、自身を見つめるために瞑想道場を探すようになりました。このことでお寺との縁ができて、瞑想で自身を取り戻せる感覚が芽生えました。

修行・寺の開山

悠心 寺での修行の日々は決して平坦なものではなく、僧侶への道を諦めそうになった事も。その後、在家出身の気さくな住職と出会い、僧侶となる資格を得ました。過去のわたしのように辛い思いをされている方の力になりたい。その一心で蓄えていた資金で心和寺をつくりました。小さな寺ですが、お一人お一人の「心の拠り所」となるよう、「抜苦与楽」で人々に寄り添いたいと考えています。

苦しみに寄り添う仏さまの教え

悠心 わたしのように寺族出身ではない者が、在家から出家して僧侶になるのは狭き門といえます。しかしお釈迦様やお大師様から受け継がれた仏教(真言密教)は素晴らしい教えです。その教えを広めるためには在家出身の僧侶が必要と考え、後世の指導にも力を入れています。現在では全国に30名の弟子を持つまでになり、遠くアメリカにも弟子がおります。「苦しむ人に寄り添う」。これからもその思いを胸に仏の道を歩んでいきます。

不動護摩供 毎月28日

あらゆる願い祈願

護摩木 1,000円/2本 願い事を書いて投入します

10:00～ 瞑想 11:00～ 護摩祈願
19:00～ ビジネスマンの為の瞑想

事前予約 お坊さん体験 体験料1万円

毎月1日 お写経 持参品不要です 奉納料1,000円

毎月28日 瞑想 ビジネスマンの為の瞑想 朝の瞑想 参加費1,000円

事前予約 仏教を学ぶ 参加費1,000円

毎月1日 ランチ女子会 尼さんとおしゃべり(1名様) 参加費無料 お弁当持参

全国の関連寺院一覧

- 岡山県 心和寺(しんなじ)
- 大阪府 心和寺(しんなじ)
- 九州 心庵(しんあん)
- 群馬県 慈明寺(じみょうじ)
- 茨城県 心永寺(しんえいじ)
- 神奈川 賢正寺(けんしょうじ)
- 茨城 妙洗寺(みょうせんじ)
- 兵庫 桃雅庵(とうがあん)
- 埼玉 実婦寺(じつぷじ)
- 静岡 富岳寺(とみがけ)
- アメリカ St.Louis Japanese Buddhist Temple